

彫刻

「TAMAKO 2020」

増山 隆子(高知市)



少女の成長願って

長が伸びそ
うで楽し
み。もう少

て。清潔感を意識して 品してきた。立像の重し彫刻も頑張らないか
作りました」 心やバランスなど船木 んね」と意欲が再燃し

小学校教員の傍ら30 さんに教えられた彫刻 ている。

両手を腰に凍と立つ 成長への願いを込め
ジーン姿の少女像 信が持てるものを身に 成長への願いを込め
は、大めい(弟の孫)で 付けたい」と、県展無 上等、彫刻を楽しもう 来たを見据えるように、
中学1年の大和珠子さ 鑑査の故船木直人さん とやってきた。船木先 少し上を見上げてい
ん(12)。彼女が小学4 学の指導を受け、高知大 生に学んだ仲間と入賞 する。
年生の時からモデルに 学の作業場で夏休みに できてうれしい」

(楠瀬慶太)

制作に励んだ。 近年は体力の不安を

今回で4作目となる。 その時の仲間と退職 抱え、「県展は今年で最

「遊びに来た時に、 後も制作を続け、県展 後と思うちよった」と

ポーズを取ってもらっ に40年以上ほぼ毎年出 言っが、「珠子はまだ身

ますやま・たかこ
1942年高岡郡中土
佐町生まれ。初特選。